

1. 研究課題名：E-1003 次世代自動車等低炭素交通システムを実現する
都市インフラと制度に関する研究

2. 研究代表者氏名及び所属：森川 高行（名古屋大学）

3. 研究実施期間：平成22～24年度



4. 研究の趣旨・概要

わが国の交通部門の低炭素化を図るため、電気自動車（以下、EV）等次世代自動車の普及や交通需要マネジメント（以下、TDM）等の有効性が指摘されている。

そこで、本研究ではEV等次世代自動車の普及と利用促進策、TDMやEVカーシェアリングの導入、自転車専用レーン等低無公害車両への優先的な都市空間の再配分等をパッケージ施策とし、これらを実現するための都市インフラや制度について研究する。具体的には、環境税や駐車デポジット制度（通称 PDS：研究代表者が提唱する新しいロードプライシング）等プライシングスキームの再構築とパッケージ施策の提案、及びこれらを実現するための制度設計や合意形成手法を提案する。

5. 研究項目及び実施体制

①低炭素交通システムを実現するモビリティデザインの方向性に関する研究

（㈱日建設計総合研究所）

②ライフスタイル（生活・交行動）を考慮したパッケージ施策に関する研究

（名古屋大学）

③低炭素交通システムにおけるエネルギーと都市環境の総合評価に関する研究

（名古屋大学）

④低炭素交通システムの実現に向けた制度設計と合意形成手法の開発

（名古屋大学）

6. 研究のイメージ

